

公共事業再評価調書

整理番号 H18 - 3

担当部課名	農林水産部 農村整備課	電話番号	0 1 7 - 7 3 4 - 9 5 4 5
		E - MAIL	noson @pref.aomori.lg.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 (5 年)	再評価後 (年)	その他 ()
---------	-----	--------------	------------	---------

1 事業概要

事業種別	農業農村整備事業		事業主体	県 市町村 その他 ()				
事業名	県営防災ダム事業		地区名等	五戸川 3 期	市町村名	八戸市、新郷村、五戸町		
事業方法	国庫補助	県単独	財源・負担区分	国 55 %	県 40 %	市町村 5 % その他 %		
採択年度	平成 13 年度 (用地着手 平成 年度 / 工事着手 平成 13 年度)							
終了予定年度	平成 21 年度 (平成 年 月 工期変更 当初計画時 平成 年度)							
事業目的	本地区は既に設置済みの二ノ倉ダム (S46竣工) 及び又木戸ダム (S53竣工) について、老朽化が進行している施設を改修、更新することで洪水調節機能を維持し、ダム下流域の農地及び農業用施設等を洪水被害から守るものである。							
主要内容	区 分		当初計画時	再評価時	増 減			
	漏水観測設備・照明・警報設備 (二3・又2)		1 式	1 式	0 式			
	遮水舗装改修・天端As改修 (二)		1 式	1 式	0 式			
	堤体改修・法面改修 (又)		1 式	1 式	0 式			
	ゲート施設改修 (二2・又1)		1 式	1 式	0 式			
物価上昇により事業費が微増となった。 注) 上記表中の「二」は二ノ倉ダムを「又」は又木戸ダムを表す。								
事業費	当初計画時総事業費 1,000 百万円 (単位: 百万円)							
		~ 15年度	16年度	17年度	18年度	小 計	19年度~	合 計
	計 画	248	100	150	100	598	414	1,012
	(うち用地費)	()	()	()	()	(0)	()	(0)
年 月変更								
実 績	248	100	150	100	598	414	1,012	
(うち用地費)	()	()	()	()	(0)	()	(0)	

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況			計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
	事業費割合		59.1 % [/]	100 % [/]
	(うち用地費)		(%) [/]	(%) [/]
	主要工種 毎割合 (事業費)	漏水観測・照明・警報設備 (55百万円)	100 %	100.0 %
		遮水舗装改修・天端As改修 (510百万円)	37 %	100.0 %
堤体改修・法面改修 (341百万円)		73 %	100.0 %	
ゲート施設改修 (106百万円)		100 %	100.0 %	
説 明	当初計画していた事業内容のうち、二ノ倉ダムの遮水舗装工については、新技術であるアスファルトシートを採用したことにより、300百万円の大規模なコスト縮減を図った。このため、事業費ベースの進捗率は37%となっているが、実質的には完了している。 こうしたことから、今後は法面改修などの整備を行い、主要工事は平成19年度に完了する予定である。			
問題点・ 解決見込み				
事業効果 発現状況	ダムの遮水舗装等を改修したことによりダムの機能が十分発揮され、ダム下流域の農地及び農業用施設等の洪水被害が未然に防止されている。 また、今後も長期間にわたり、こうした事業効果が見込まれる。			

(2) 社会経済情勢の変化

(A) ・ B ・ C

社会的評価	全国・本県における評価	<p>【全国の評価】</p> <p>安全で安心な食料を安定的に供給することにより国民・消費者の「いのち」を守る農業・農村の基盤づくりが求められており、農地及び農業用施設に係わる災害を未然に防止する防災ダム事業は有効である。また、その防災機能は引き続き維持していく必要がある。</p>	<p>【県内の評価】</p> <p>本県農業は県経済を支える基幹産業であり、洪水多発地域の農地・農業用施設を災害から守っていくためには、洪水調節を行う防災ダムの整備は欠かすことができない。また、地域住民の人命や一般公共施設などを災害から守る観点からも大変有効である。</p>	
	当地区における評価	<p>五戸川上流域の大部分は原始河川で蛇行が甚だしく、洪水のたびに農地、農業用施設、その他一般公共施設が災害を受けていた。このため、昭和30年代に沿岸市町村から防災ダム建設の要望が出され、昭和46年には二ノ倉ダムが、昭和53年には又木戸ダムが完成した。ダム完成後は、農地等の洪水による被害が防止されており、今後もダムの機能を維持していくことが必要である。なお、本事業によりダム施設を更新することについては、地元から十分な理解が得られている。</p>		
必要性	<p>二ノ倉・又木戸の両ダム下流域には約435haの優良農地が存在することから、洪水被害から農地や農業用施設を守る必要がある。</p>			(a) . b
適時性	<p>ダム施設の耐用年数は、遮水舗装・テレメータ・気象・漏水施設等は10年、ゲート・法面法枠工は30年となっているが、ダム完成後、約30年間は改修や更新が行なわれていないことから、ダム遮水能力の低下や、管理設備の老朽化による誤作動等が多発しており、早急な整備が求められている。</p>			(a) . b
地元の推進体制等	<p>ダム建設にあたり関係市町村及び土地改良区により組織された「五戸川防災ダム建設促進協議会」が組織され、本事業を円滑に推進する体制が確立している。 (八戸市、五戸町、新郷村、倉石土地改良区ほか4土地改良区、1用水組合)</p>			(a) . b
効率性	-			

(3) 費用対効果分析の要因変化

(A) ・ B ・ C

区分	主な項目	当初計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1) 防災ダム事業	1,050 百万円	1,067 百万円	17 百万円
	(2)	百万円	百万円	0 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	1,050 百万円	1,067 百万円	17 百万円
便益項目 (B)	(1) 安全性向上効果	27 百万円	32 百万円	5 百万円
	(2) 維持管理節減効果	45 百万円	49 百万円	4 百万円
	(3) 更新効果	781 百万円	852 百万円	71 百万円
	(4) 災害防止効果	683 百万円	887 百万円	204 百万円
	(5) 廃用損失	-62 百万円	-33 百万円	29 百万円
	総便益	1,474 百万円	1,787 百万円	313 百万円
B / C		1.40	1.67	
<p>【費用対効果分析手法】(分析手法、根拠マニュアル等)</p> <p>農林水産省構造改善局長通達(土地改良事業における経済効果の測定方法)</p> <p>【費用対効果分析における特記事項】</p>				

(4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A)・B・C

コスト縮減	<p>【コスト縮減の検討状況】</p> <p>二ノ倉ダム堤体の表面遮水工は、当初計画では再度アスファルト舗装を行ない、機能維持を図ることとしていたが、実施に際し、工法を再検討した結果、合成繊維にアスファルトを含ませたアスファルトシートへの貼付工法が経済的で施工性が良く、機能維持も図れることが確認できたため、これを採用し300百万円のコスト縮減を図った。</p>	(a)・b
代替案	<p>【代替案の検討状況】</p> <p>改修工法の選定にあたっては、経済性、安全性等を総合的に検討しており、代替案は見当たらない。</p>	(a)・b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A)・B・C

住民ニーズの把握状況	<p>【住民ニーズの把握方法】</p> <p>土地改良法に基づき同意徴集を行なっている。また、ダム建設にあたり関係市町村及び土地改良区により組織された「五戸川防災ダム建設促進協議会」を通じて地元ニーズの把握に努め、合意形成を図りながら進めている。</p>	<p>【住民ニーズ・意見】</p> <p>受益者の同意率は97%（同意者698人／資格者718人）となっている。また、「五戸川防災ダム建設促進協議会」においては、毎年、事業実施内容の説明を行っており、その中で地域住民からの意見では、ダムの果たす役割が広く認められ、早期事業完了が望まれている。</p>	(a)・b		
環境影響への配慮	<p>【地域別環境配慮指針への対応】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>地域区分</td> <td>H2a</td> </tr> </table> <p>(1)対応状況 配慮している 配慮していない (2)対応内容 下流域の河川環境に影響のないように、濁水処理プラントを設置してダム工事を実施した。</p>	地域区分	H2a	<p>【開発事業等における環境配慮指針への対応】</p> <p>(1)対応状況 配慮している 配慮していない (2)対応内容 ダム周辺の自然環境を変化させることのないよう、工事の範囲は既存ダムの施設のみの更新に留めている。</p>	(a)・b
地域区分	H2a				
地域の立地特性	特定農山村、過疎地域、振興山村地域				

3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続 計画変更 中止 休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	本事業は、五戸川上流域における農地や農業用施設を洪水から守り、地域農業の安定化を図るとともに、一般公共施設の洪水被害防止を図るなど重要な役割を果たすことから、継続して実施する必要がある。
備考	

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり 対応方針(案)を修正すべき
委員会評価	継続 計画変更 中止 休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見	
評価理由	